

論点6 住宅市場・住生活産業の振興

1 基本的な考え方

○市内の家屋の新築・増築件数は年々減少しており、また、建設業全体で働く就業者は高齢化が進み、若手の人材が不足している。住生活産業は、水・電気の供給や災害時におけるインフラ確保など、安心して生活を送るためには不可欠な産業であり、身近な働き先でもある。市民生活から地域経済まで幅広く関係する裾野の広い住生活産業の保護・育成を行うことで安心して暮らせる環境を確保する。

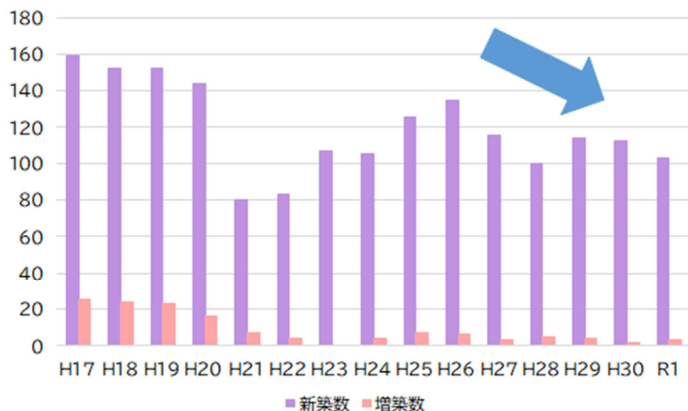
2 住宅市場・住生活産業の状況

○住宅市場

①家屋の新築・増築状況

・家屋の新築・増築状況件数は、近年は緩やかに減少している。

■図8 家屋の新築・増築状況

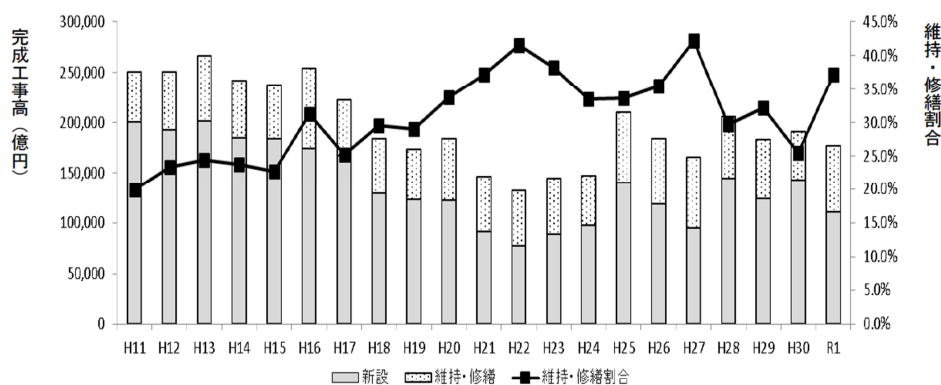


出典：府中市統計要覧

②工事種別の完成工事高の推移

・県内の完成工事高は、年々減少傾向にあるが、維持・修繕の割合はばらつきがあるものの、増加傾向にある。

■図9 工事種別民間住宅の元請完成工事高の推移（広島県）

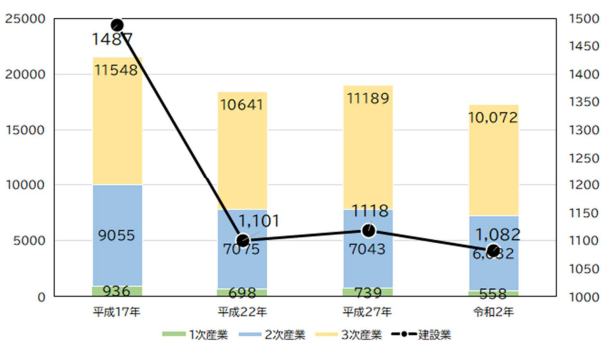


出典：国土交通省「建設工事施工統計調査報告」

○就労人口

①府中市の産業別就労人口

■図10 産業別就労人口の推移

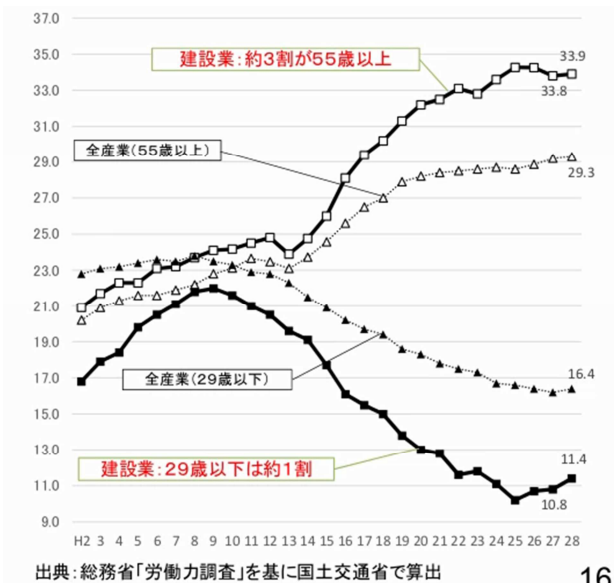


出典：事業所・企業統計調査、経済センサス

②全国の建設業の年齢別就労者数

・建設業就業者は、全産業と比較して55歳以上が約5%多く、29歳以下が約5%と低く高齢化が進行している。

■図11 建設業の年齢別就労者数



16

③府中市内の建設業の就労状況

・平均年齢は、平成17年から令和2年の15年間で4.2歳増加した。一方、40歳未満の若い世代の就労者数は、平成17年から令和2年の15年間で279人減り半減した。

■表11 府中市内の建設業従業員の平均年齢及び40歳未満の従業員数

	従業員の平均年齢	40歳未満の従業員数
平成17年	45.9歳	564人
平成22年	48.1歳	392人
平成27年	48.6歳	343人
令和02年	50.1歳	285人

出典: 国勢調査

○アンケート調査結果

・住民アンケートからは、「住まいに関する情報で関心がある内容」の問いに対し、「住まいのメンテナンス・長寿命化(26.3%)」がもっとも高い結果となり、リフォームに関心があることがうかがえる。

■表12 住まいと暮らしに関する情報について(住まいに関するアンケート)

	回答数	構成比
住まいの構造や建て方	216	18.7%
建築資材(国内・地元産材料の使用など)	47	4.1%
住まいの耐震化	285	24.7%
住まいのバリアフリー化	219	19.0%
住まいの省エネルギー化	285	24.7%
居室の大きさや間取り	145	12.6%
住まいのメンテナンス、長寿命化	303	26.3%
子育てのしやすさなどを認定した物件情報	90	7.8%
近隣との関わりやコミュニティ	171	14.8%
環境(気候、風土)との調和	68	5.9%
街並みや景観との調和	40	3.5%
その他	19	1.6%
無回答	128	11.1%
回答対象	1154	100.0%

3 今後の方向性

○住宅リフォームやエコ改修が拡大する取り組みとはどのようなものが有効か。

(案) 事業者や市民など双方向への知識の普及、補助制度に関する情報発信

○住生活産業に興味を持ち、入職してもらうにはどのようなことが有効か。

(案) 未就学児や小・中学校等へのイベント等の開催、DXや省力化施工など魅力的な技術の活用